

第11章 準備書記載事項の修正の概要

準備書についての経済産業大臣の勧告（平成29年9月21日 20170906保第20号）、環境大臣からの意見、新潟県知事の意見、長野県知事の意見等を踏まえ、準備書の記載内容の見直しを行い、その記載事項を修正した。

修正の概要は第11-1表(1)～(7)のとおりである。

第11-1表(1) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	1-1	代表者の氏名を変更した。	代表者の変更
第2章 対象事業の目的及び内容	2-1～ 2-73	誤記を修正し、主要な工事の方法及び規模、排水計画、法面処理及び緑化対策等を修正した。	より適切な記載とした。
2-2-4 対象事業実施区域	2-2～ 2-8	第二土捨場の事業実施区域面積を修正した。また、各土捨場の盛土範囲を最新計画に基づいて修正した。	より適切な記載とした。
2-2-6 工事の実施に係る工法、期間及び工程計画に関する事項 (1) 工事期間及び工事工程	2-16	工事工程表を最新計画に基づいて修正した。	より適切な記載とした。
(2) 主要な工事の方法及び規模	2-14～15	発破を使用する工事の内容及び騒音、振動、猛禽類に対する対策の考え方を記述した。	より適切な記載とした。
(8) 工事中の排水に関する事項	2-38～40	土捨場における雨水処理方法、濁水処理装置の処理対象水量の算定根拠の解説を追記した。	より適切な記載とした。
2-2-7 切土、盛土その他土地の造成に関する事項 (1) 切土、盛土に関する事項	2-47	切土法面勾配は「道路土工一切土工・斜面安定工指針」に基づいて設定していること、状況に応じてグラウンドアンカーによる法面補強を実施することを追記した。	より適切な記載とした。
(3) 法面処理及び緑化対策について	2-54	土捨場の法面処理で、盛土施工前の表土を法面に張り付けることを追記した。 また、周囲から侵入が期待される植物について記載した。	より適切な記載とした。
2-2-8 土石の捨場又は採取場に関する事項	2-57	土捨場毎に検討した盛土方法、土砂流出防止対策などを記載した。	より適切な記載とした。

第 11-1 表 (2) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
第 3 章 対象事業実施区域及びその周囲の概況	3-1～ 3-131	誤記を修正した。気象、大気質、水質に係るデータ、各種統計データなどは、評価書作成時点での最新データへの更新を行った。	より適切な記載とした。
3-1-5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (2) 植物の生育の状況 ① 植物相及び植生の概要	3-51	対象事業実施区域及びその周辺の植生の状況が分かるように、詳細に記述した。	より適切な記載とした。
第 6 章 環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法	6-1～ 6-69	大気環境の予測手法について、用いた手法を詳細に記載した。また、大気環境では尾巻集落の民家が移転したため、尾巻集落の予測地点を評価対象から除外したことを記述した。 また、動物、植物、生態系、景観で、第二土捨場に係る追加調査期日を追記した。	より適切な記載とした。
第 8 章 環境影響評価の結果 8-1 調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果 8-1-1 大気環境 (1) 大気質 ② 予測及び評価の結果	8-1-1-19 8-1-1-28 8-1-1-34 8-1-1-39 8-1-1-51	尾巻集落の家屋(1軒)が移転したので、評価対象から除外した旨を記述した。	より適切な記載とした。
ア. 工事の実施 (ア) 工事中資材等の搬出入 b. 窒素酸化物の予測 c. 浮遊粒子状物質の予測	8-1-1-25 8-1-1-31	小滝集落における車種別の窒素酸化物、浮遊粒子状物質の排出係数について、道路勾配を考慮した排出係数に修正した。	より適切な記載とした。
d. 粉じんの予測	8-1-1-34～ 38	「道路環境影響評価の技術手法(平成 24 年度版)」に基づき、降下ばいじん量を計算した。	より適切な記載とした。
(イ) 建設機械の稼働 b. 窒素酸化物の予測 (d) 予測手法	8-1-1-40	拡散予測では、地形の影響を考慮していない簡易的方法を採用していることを記述した。	より適切な記載とした。
d. 粉じんの予測	8-1-1-57	建設機械の稼働による粉じんの予測で、参考とした事例を記載した。	より適切な記載とした。
(2) 騒音 ② 予測及び評価の結果 ア. 工事の実施 (ア) 工事中資材等の搬出入 c. 予測地点	8-1-1-81	尾巻集落の家屋(1軒)が移転したので、評価対象から除外した旨を記述した。	より適切な記載とした。

第 11-1 表 (3) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
f. 予測結果	8-1-1-86	道路騒音の予測諸元を確認し、予測結果を修正した。	より適切な記載とした。
g. 評価の結果	8-1-1-87	追加の保全対策として、第一土捨場の活用順位を後順位とすること、捨土の有効利用を図り捨土総量を削減すること、地元地区に工事説明会などを通じて協議を行い、理解を得ながら工事を進めることを記載した。	より適切な記載とした。
(イ) 建設機械の稼働 e. 予測手法	8-1-1-91	騒音の予測では標高差の無い平面を想定し、地形の影響を考慮していないことを記載した。	より適切な記載とした。
(3) 振動 ②予測及び評価の結果 (ア) 工事事資材等の搬出入 e. 予測手法	8-1-1-112	「道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版）」で提案されている資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る振動の予測手法を参考とした。	より適切な記載とした。
f. 予測結果	8-1-1-114	変更した予測手法により計算された予測結果に修正した。	より適切な記載とした。
(イ) 建設機械の稼働 c. 予測地点	8-1-1-116	尾巻集落の家屋(1 軒)が移転したので、尾巻集落に係る予測地点を評価対象から除外した旨を記述した。	より適切な記載とした。
e. 予測手法	8-1-1-119	振動の予測では標高差の無い平面を想定したことを記載した。	より適切な記載とした。
8-1-2 水環境 (1) 水質 ①調査結果の概要 ア. 水の汚れの状況 (ア) 生物化学的酸素要求量の状況 b. 現地調査 (e) 調査結果	8-1-2-6	生物化学的酸素要求量の現地調査で、平成 27 年 11 月の調査結果が、不規則な変動が見られていることについて、考えられる理由を記載した。	より適切な記載とした。
②予測及び評価の結果 ア. 工事の実施 (ア) 造成等の施工による一時的な影響(水の濁り) c. 予測地点	8-1-2-26	予測地点の区分を、「濁水処理施設からの排水」と「土捨場仮設沈砂池からの排水」に修正した。	より適切な記載とした。
e. 予測手法 (b) 土捨場仮設沈砂池からの排水の予測	8-1-2-28	土捨場等から発生する濁水の量を、時間降雨量に基づいて算定し、時間雨量での水質予測を行った。	より適切な記載とした。

第 11-1 表 (4) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
8-1-3 動物 (1)重要な種及び注目すべき生息地 ①調査結果の概要 ア. 哺乳類相の状況 エ. 爬虫類相の状況 オ. 両生類相の状況 カ. 昆虫類相の状況 c. 調査期間 e. 調査結果	8-1-3-2 8-1-3-22 8-1-3-25 8-1-3-28	第二土捨場に係る追加調査を実施した哺乳類、爬虫類、両生類、昆虫類について、追加調査期日を記載した。 また、追加調査結果を踏まえて、各項目の調査結果の記述を修正した。	より適切な記載とした。
①調査結果の概要 ア. 哺乳類相の状況 (イ) 現地調査 e. 調査結果	8-1-3-6	コウモリの調査状況を追記した。また、カワネズミの調査結果を記載した。	より適切な記載とした。
キ. 魚類相の状況 (イ) 現地調査 e. 調査結果	8-1-3-34	魚類の産卵環境に関する記述について、参考とした文献、資料名を明記した。	より適切な記載とした。
ケ. 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況 (イ) 現地調査 a. 動物調査による重要な種の生息状況 (b) 調査結果 iii. 重要な猛禽類の確認状況 ・クマタカの行動圏と高利用域	8-1-3-95	クマタカの高利用域について、親鳥の誇示とまりが確認された位置、幼鳥が確認された範囲に、周辺の植生を勘案して再検討した結果とした。	より適切な記載とした。
iv. 重要な昆虫類の確認状況	8-1-3-105	準備書で記載したコシマチビゲンゴロウがヒメシマチビゲンゴロウと確認されたので、貴重種から削除した。また、ギフチョウ、ヒメギフチョウの確認状況を示す図を追加した。	より適切な記載とした。
②予測及び評価の結果 (ア) 工事用資材の搬出入、建設機械の稼働、造成などの施工による一時的な影響、地形改変及び施設の存在、河水の取水 a. 環境保全措置	8-1-3-115	ギフチョウ、ヒメギフチョウの食草であるクロヒメカンアオイ、ウスバサイシンの保全対策を記述した。	より適切な記載とした。

第 11-1 表 (5) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
e. 予測結果 (a) 重要な種等への生息状況への影響 v. 昆虫類 (ii) カヤキリ	8-1-3-131	カヤキリの生息環境である河川敷の草地の改変状況を記載し、影響予測を修正した。	より適切な記載とした。
(xi) ギフチョウ	8-1-3-134	ギフチョウの食草のクロヒメカンアオイの生育環境について言及し、影響予測を修正した。	より適切な記載とした。
(xii) ヒメギフチョウ	8-1-3-134	ヒメギフチョウの食草のウスバサイシンの生育環境について言及し、影響予測を修正した。	より適切な記載とした。
(xiii) ヒメシジミ	8-1-3-134	現地調査での確認個体数の情報を追記し、影響予測を修正した。	より適切な記載とした。
8-1-4 植物 (1) 重要な種及び重要な群落 ① 調査結果の概要 ア. 植物相の状況 (イ) 現地調査	8-1-4-1	現地調査範囲、現地調査期間について、第二土捨場に係る追加調査の内容を追記した。 また、調査結果も追加調査内容を踏まえて見直した。	より適切な記載とした。
e. 調査結果	8-1-4-2	減水区間に係る調査結果について、写真を用いて解説した。	より適切な記載とした。
イ. 植生の状況 (イ) 現地調査結果 e. 調査結果	8-1-4-10	地点①～地点③の植生状況について詳細に記載した。また、現地調査で確認された植生毎の解説を記載した。	より適切な記載とした。
ウ. 重要な種及び重要な群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況 (イ) 現地調査 c. 調査結果	8-1-4-23	準備書で記載したツルデンダがイワデンダと同定されたため、重要種から削除した。	より適切な記載とした。
② 予測の結果 ア. 貴重種、重要種などの生息環境の改変の程度及び内容 (ア) 環境保全措置	8-1-4-31	対象事業実施区域に生息する重要な種について、施工の影響が大きく、かつ元の生育地の原状回復ができない場合は周辺に適地を探して移植を行うことを記載した。	より適切な記載とした。
(ウ) 予測結果 c. ウラジロガシ	8-1-4-33	ウラジロガシの影響を受ける固体について詳細に記述、影響予測の記述を見直した。	より適切な記載とした。
g. ハシリドコロ	8-1-4-34	第二土捨場計画地で確認されたハシリドコロについて、分布・生態的特性と影響予測を追記した。	より適切な記載とした。

第 11-1 表 (6) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
8-1-5 生態系 (2) 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境もしくは生育環境の状況 ③上位性注目種(クマタカ)に係る調査結果の概要 ア. 文献その他の資料調査	8-1-5-5	クマタカの一般生態について、参考とした文献名を記載した。	より適切な記載とした。
③上位性注目種(クマタカ)に係る調査結果の概要 ウ. 現地調査	8-1-5-8	第二土捨場について、ノウサギの INTGEP 法の追加調査内容、調査結果を記載した。	より適切な記載とした。
ウ. 現地調査 (オ) 調査結果 c. 餌量調査	8-1-5-27	クマタカの餌量を現存量に修正した。 また、餌量指数を再検討した。	解析内容を見直し、より適切な記載とした。
d. 生息好適性解析	8-1-5-32	クマタカの生息好適性解析の内容を再検討した。	解析内容を見直し、より適切な記載とした。
④典型性注目種(カモシカ)に係る調査結果の概要 c. 植生	8-1-5-42	カモシカの植生について、参考とした文献名を記載した。	より適切な記載とした。
ウ. 現地調査	8-1-5-44	第二土捨場周辺で実施した生息密度調査の内容及び調査結果を記載した。	より適切な記載とした。
c. 餌量調査	8-1-5-51	追加調査結果を踏まえ、餌量指数、生息好適性指数等を見直した。	より適切な記載とした。
(3) 予測及び評価の結果	8-1-5-56	クマタカ、カモシカについて、餌量指数、生息好適性指数を見直したので、事業による影響予測を全体的に見直した。	より適切な記載とした。
8-1-6 景観 (1) 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観 ①調査の結果の概要 エ. 主要な眺望点及び眺望景観の状況 (イ) 現地調査 e. 調査結果	8-1-6-12	第二土捨場に係る追加調査内容を記載した。	より適切な記載とした。
②予測の結果	8-1-6-14	第二土捨場に係る予測結果を追加した。	より適切な記載とした。

第 11-1 表 (7) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
8-2 環境の保全のための措置 8-2-1 環境の保全のための措置の基本的な考え方	8-2-1	環境保全のための措置の基本的な考え方について、経済産業大臣の勧告を反映し、対象事業実施区域及びその周辺が自然環境保全上重要な地域であるため、水環境、鳥類に対する影響や、土地の改変等による影響に対する環境保全措置の考え方を記述した。	経済産業大臣勧告等を踏まえ、より適切な記載とした。
8-2-2 環境保全措置の検討の経過及び結果 (3) 工事の実施における環境保全措置の検討 ②大気環境 イ. 発破の使用	8-2-3	発破の使用に関連して検討した、環境保全措置の内容を記述した。	より適切な記載とした。
④動物-工事用資材等の搬出入、建設機械の稼働、造成等の施工による一時的な影響 ア.クマタカ、サシバの保全	8-2-4	クマタカの保全対策として実施するコンディショニングについて、フロー図、作業配分を示して解説した。	より適切な記載とした。
⑤植物-造成等の施工による一時的な影響	8-2-6	ウスバサイシン、ハシリドコロの保全対策について記載した。	より適切な記載とした。
8-2-4 環境監視	8-2-22	工事中のクマタカの監視調査内容の見直し、サシバの監視調査、貴重な植物の仮置き中の生育状況の監視、移植後の生育状況の監視調査について追記した。 また、工事後のクマタカ、貴重植物の監視調査について追記した。	経済産業大臣勧告等を踏まえ、より適切な記載とした。
8-4 総合評価	8-4-2～ 8-4-51	8-1 調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果の修正内容を反映した。	より適切な記載とした。